

## 門扉施工ご案内

弊社の商品はハンドメイドのため、施工には十分な注意が必要です。  
必ず内容をご確認いただき、慎重に施工方法をご決定下さい。

**下記のような施工は絶対に行なわないでください！！**

**うまく施工できないトラブルが発生しています！！**

①柱や兆番の水平確認のみで柱を固定してしまう。

**⇒扉の水平を基準に施工ください。**

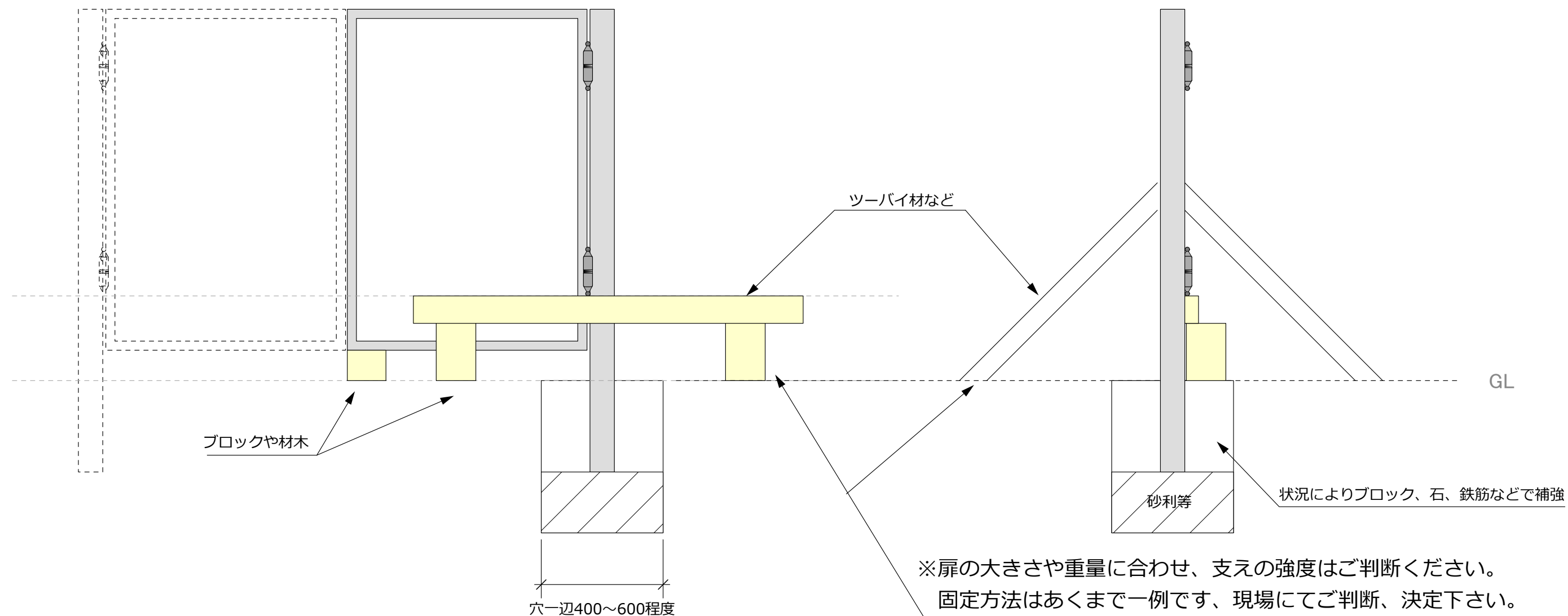
②採寸せず柱のみの先施工

**⇒ハンドメイドのため若干のズレが生ずる場合がございます。**

③輸送中の傷があるにもかかわらず施工してしまう。

**⇒施工後の場合対応が出来ません。**

如何なる理由でも施工費の負担は行なっておりません。



**※ハンドメイド商品の特質上、図面寸法と若干のズレが生じる場合がございます。**

**必ず商品の採寸を行い、施工時の調整をよろしくお願い致します。**

①適切な幅、深さで穴を掘ります。

穴幅の目安は400~600mm程度です。商品重量や柱の太さ、現場状況にあわせて設定ください。

②穴の底には砂利を敷くなど、水はけに考慮をよろしくお願い致します。

③兆番に扉を載せ、GLと扉の隙間を確認します。

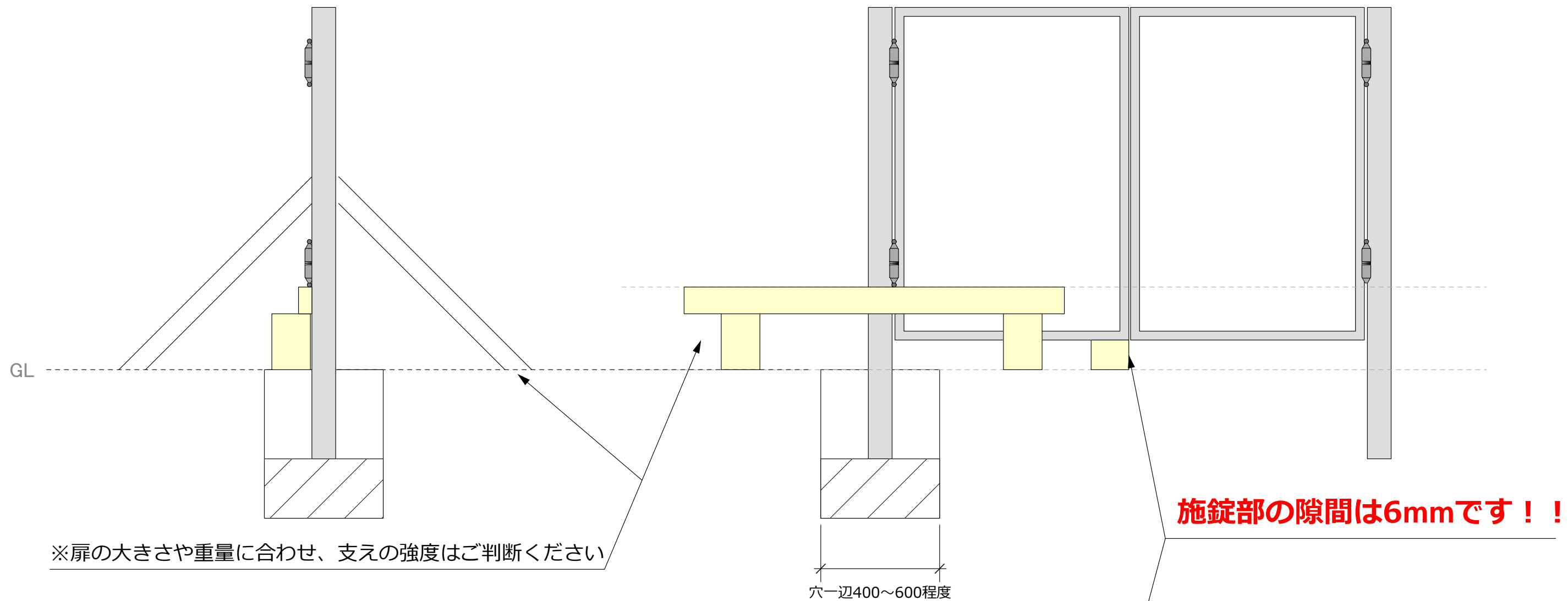
④GLと兆番下の隙間にあわせ、台を用意します（ブロック、ツープイ材、鉄骨など）。

柱の沈み込みによる扉の抜け落ちを防止します。

**⑤柱ではなく、扉の水平（前後左右）を確認し仮固定します。**

**この段階で今一度採寸確認してから次のステップへ進んでください。**

⑥穴にコンクリートを流し込み、固定します。



## ■ 両開き門扉（折戸門扉含む）・親子門扉の場合

反対側の扉も同様に設置を進めてください。

弊社の両開き、親子門扉の**施錠部の隙間は6mm**で設定しております。

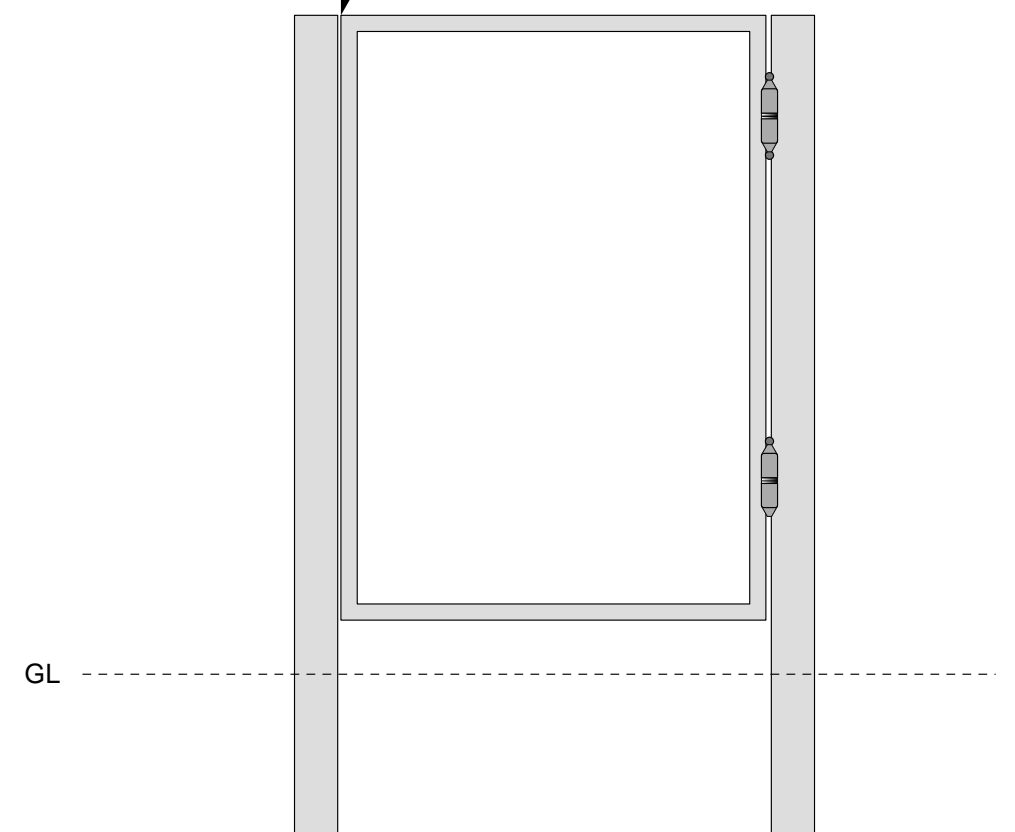
隙間が開きすぎると、施錠が機能しない場合がございます。

必ず隙間寸法を守っていただきますようお願い致します。

## ■ 片開き門扉の場合（折戸門扉含む）

**扉にあわせて柱位置を決めて下さい。**

**柱のみの水平で設置しないようご注意ください。**



## ■ 施工に関する重要なお知らせ ■

### ▼門扉の施工に関する注意点（※重要です、必ずご確認ください※）

---

「実際に使用する状態」で施工場所に合わせながら施工して下さい。

別紙、「門扉施工のご案内」を必ずご確認ください。

- ・商品はハンドメイドの為、ズレ等が生じる可能性御座います。

※施工前に検品、採寸を必ず行ってください。先に柱を埋め込んで  
しまい、うまく施工できないトラブルが発生しています。※

- ・輸送中の破損、ゆがみなどの確認も確実にこなして下さい。
  - ・柱や蝶番の水平度で施工をせずに扉を基準に施工すると間違いなく施工が出来ます。
  - ・柱や蝶番のみ先に施工すると実際に扉を乗せた時に合わない可能性が御座います。
  - ・強度のある厚み十分な鉄素材を使用していますが扉は重量に影響される場合が御座います。
  - ・扉を強い力で開ききりますと兆番部、その他固定部へ負担がかかります。  
⇒必要な位置で止まるように「床付け・壁付け 戸当り」を設置下さい。
  - ・砂利などに多量の塩分が含まれないようご注意ください。
  - ・腐食させる恐れのある接着剤、化合物、化学薬品の使用はお止め下さい。
  - ・**電気錠を設置のお客様**は施工実施前に別紙「電気錠システムについて」  
を必ずご確認ください。
  - ・電気配線工事、結線は電気工事店（有資格者）へご依頼ください。  
一般の方の工事は禁止されております。
  - ・上記施工方法はあくまで弊社が提案する施工方法の一例です。  
施工方法に関してはお客様又は施工される業者様の判断にて決定下さい。
  - ・施工書は御座いませので製作図面より施工方法判断の上、  
施工者様の責任にて埋込サイズ等ご指示いただいております。
  - ・施工にかかわる事故は一切責任を追いかねます。
-

▼オートヒンジ設置のお客様へ

- ・オートヒンジは扉設置後、同梱しております説明書に従い調整を行なってください。  
調整は弊社では行なっておりません。

説明書は保管し、お客様にて調整をよろしくお願い致します。

▼FB 兆番、壁固定兆番で設置のお客様へ

商品を開梱し、仮組みし、FB 外々サイズを確認してから現場へ固定ください。

ハンドメイドアイアンは商品の性質上、亜鉛メッキ時や溶接のヨレにより

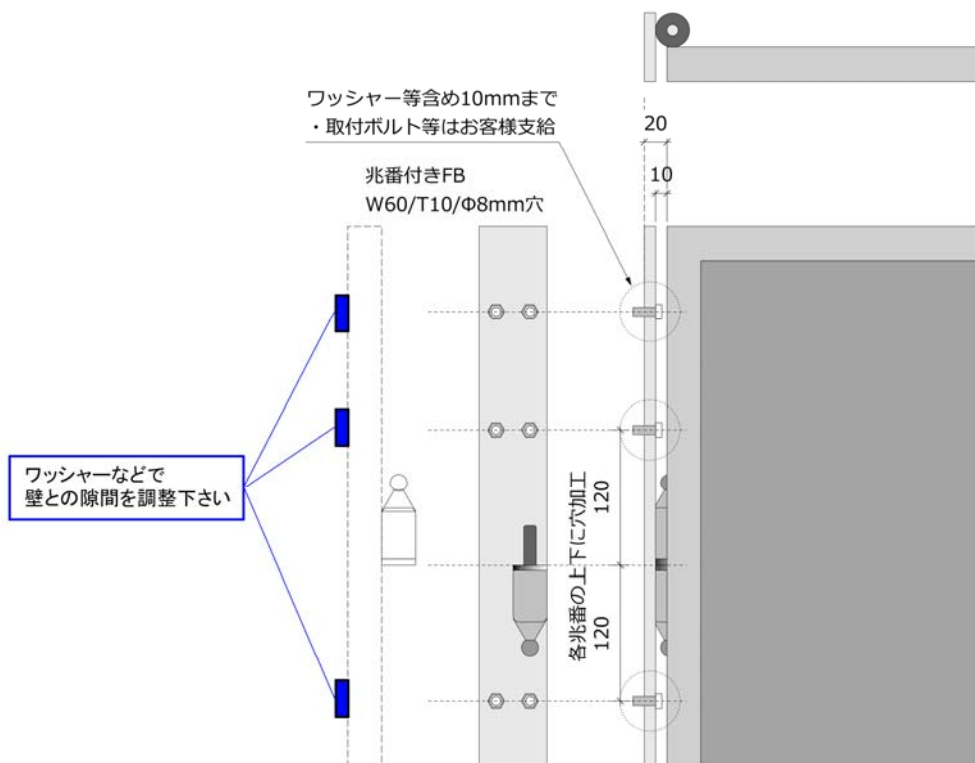
2~3mm 程度の誤差はありえます。

例) 扉上下で少しサイズに少々ズレがある

例) FB 外々サイズが図面の数字と若干異なる

例) 壁のたわみにより開口が安定していない など

こういう場合は、設置時ワッシャーなどで隙間調整を行なって下さい。



## ▼扉高さの調整について

---

- ・兆番部にワッシャーを入れて若干の調整可能です。  
片開きの場合、柱より扉のほうが高くなってしまった場合は調整が出来ません。  
ご注意ください。
- 

## ▼安全上のご注意

---

- ・激しい扉の開閉はお止め下さい。
  - ・製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
  - ・ゆすったりしないでください、その他製品に負担のかかる行為はお止めください。
  - ・熱により高温になる場合がございます。やけどには十分ご注意ください。
  - ・キャスター、戸車を使用の場合、定期的なレールの掃除などを行なって下さい。
  - ・施工には危険を伴う場合があります、専門の施工業者による施工を行なって下さい。
  - ・その他にも危険につながる取り扱いは、破損や事故の原因となります。
- 

弊社での施工はしておりませんので商品お届けのみとなります。

不良が発見された場合は再製作・又は返品返金となります。

如何なる場合でも施工費等一切の負担はしておりません。

ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 株式会社 ディオ

〒601-8205. 京都府京都市南区久世殿城町 316-3

TEL : 075-205-5026 FAX : 050-3488-3330

ディオグループ <http://www.dio-group.com> 『世界の建材ドットコム』 『世界の工具ドットコム』

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承下さい。